

たがみきくしや
田上菊舎
その生涯

略年譜

- 一七五三 一歳 旧暦十月十四日田耕村(現豊北町)柚地にて出生。
田上由永(のち本荘了左)の長女 本名道。
- 一七六八 一六歳 田耕村中河内村田利之助に嫁ぐ。
- 一七七六 二四歳 夫利之助病死。長府に移住していた実家田上家に復籍。
- 一七八一 二九歳 浄土真宗の女僧となり、俳諧の旅に出立。
- 一七八二 三十歳 美濃の国の朝暮園傘狂のもとに入門。
- 「一字庵の号と添書を授かり、全国各地を徘徊脚。長府藩主毛利元義公をはじめ公家・高僧・儒者など各界の著名人と交流し研鑽をつむ。」
- 一八二二 六十歳 「手折菊」四巻を出版。
- 一八二四 七二歳 ふるさと田耕村を訪ね、縁戚の俳人村田桃葉に二字庵の文台を譲る。
- 一八二六 七四歳 旧暦八月二十三日長府印内の田上家にて死去。



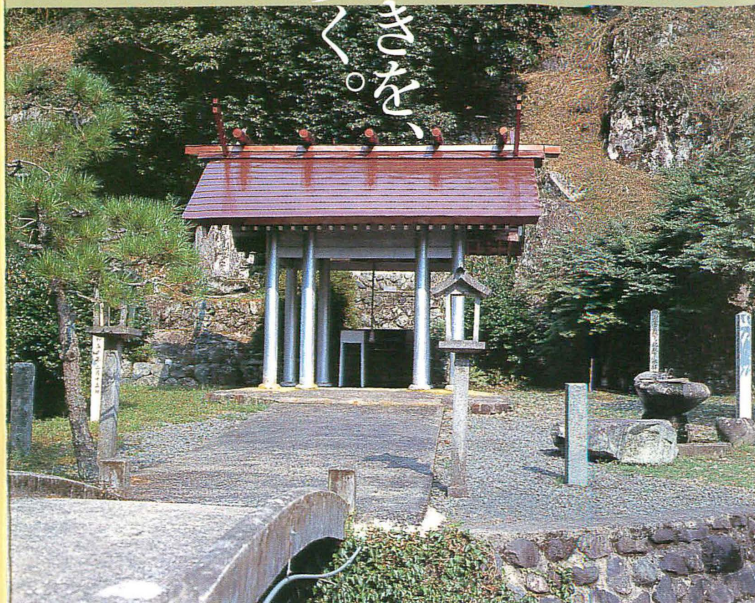
「手折菊」
四巻
稿本
「山めぐり」
「都のしらべ」
「都の玉ぎぬ」
「空月庵むだ袋」
など

短冊

山門を出れば日本ぞ茶摘唄



中山神社本宮と血染岩



交通のご案内

- 山陽新幹線・新下関駅より車で……50分
- 山陽新幹線・小郡駅より車で……60分
- 山陰線・滝部駅より車で……10分

幕末動乱の時代、尊王討幕の兵をおこした
青年公卿中山忠光(明治天皇の叔父)終焉の地

たすきを、
歩く。

古稀七耄耋

ふるさとの女流俳人

一字庵

田上菊舎

こゝろ
あはれ

根白草



菊舎顕彰会

(〒759-5512) 山口県豊浦郡豊北町田耕

TEL/FAX:0837-83-0055 (当代一字庵宅)

TEL:0837-83-0722 (田耕公民館)

三千丈 あらひ清めて根白草

月を笠に着て遊ばや旅のそら

「手折菊」冒頭句

江戸時代の俳人田上菊舎は、
ここ田耕の地に生をうけました。
齢若くして夫に死別しましたが、
再婚の道を選ばず、
出家して諸国行脚をつづけました。
俳句のほか、詩歌・琴曲・書画・茶事など、
あらゆる風流に通じていました。
封建社会の中にあつて真摯に生きぬき、
その才を花開かせた菊舎に、
ふるさと田耕の大自然は少なからぬ
影響を与えたと思われます。



生家と句碑

「敷しのぶ秋や
竹田の稲むしろ」

【菊舎ゆかりの場所】

(菊舎句碑) 田耕小学校・田上家(生家)

妙久寺(妹の婚家)

(記念碑) 田耕農林漁家婦人活動促進センター

(芭蕉句碑) 田耕公民館・上太田六地藏上

(その他) 村田桃葉旧宅・村田家(婚家)

白滝山四恩寺跡



「二字庵菊舎碑」田耕農林漁家婦人活動促進センター

「故郷や名もおもひ出す草の花」田耕小学校校庭

